

長野県 長野地域産地計画 (ながの農業協同組合：長野市)

1. 取組の概要

- 卸売市場を介した特産の「ぶどう」、「りんご」の安定した輸出ルート
の構築のための輸出対象国実需者の調査等の実施
- 輸出対象国のニーズに対応した出荷規格や、こん包資材の検討、
また、消費者へ訴求力のある商品づくりの実施
- 植物検疫や輸出対象国の輸入規制等へ対応するための防除暦
の作成や防除の実施状況の確認、必要な認証等の取得

輸出目標

対象品目：ぶどう、りんご



輸出額：4億4,493万円

輸出量：404.7 t

対象国

ぶどう：香港、シンガポール、
台湾、タイ

りんご：香港、シンガポール

輸出額：7億1,500万円

輸出量：610 t

対象国

ぶどう：香港、シンガポール、
台湾、タイ

りんご：香港、シンガポール

海外において評価の高い
「シャインマスカット」を
中心に輸出拡大

「マレーシア」「ベトナム」
今後輸出の可能性を検討

現状（2018年）

目標（2022年）

輸出の取り組み背景

J A ながの
長野県の北部 5 市 5 町 5 村を
エリアとする広域 J A

長野県内のぶどう、りんごの主産地で、多品目の果実を長期間生産
(4月～2月)

ぶどう：シャインマスカットの国内主産地。輸入事業者の期待大きい
⇒安定した需要が見込まれる
りんご：県内の主産地。**生産者の所得確保**が課題
⇒下位等級品が東南アジアの中間所得者層に需要がある

輸出拡大！

課題と解決策

実需者が毎年変わるため取引が不安定

継続的かつ安定的に取引できる実需者確保

生産

- ・検疫、規制等への対応
- ・需要のある品種の導入
- ・生産グループの育成 等

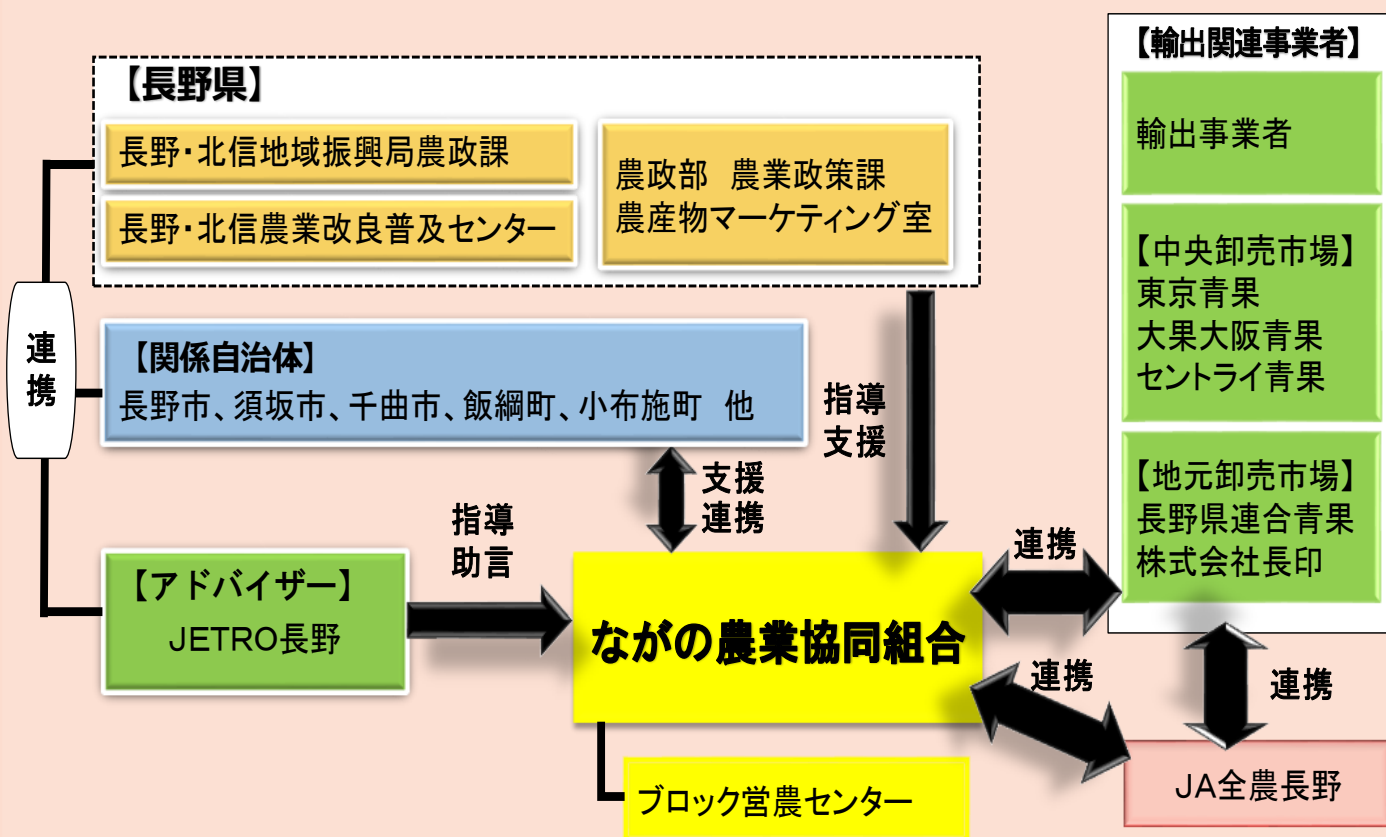
流通

- ・継続的に取引可能な
実需者の確保
- ・輸出ルート of 構築

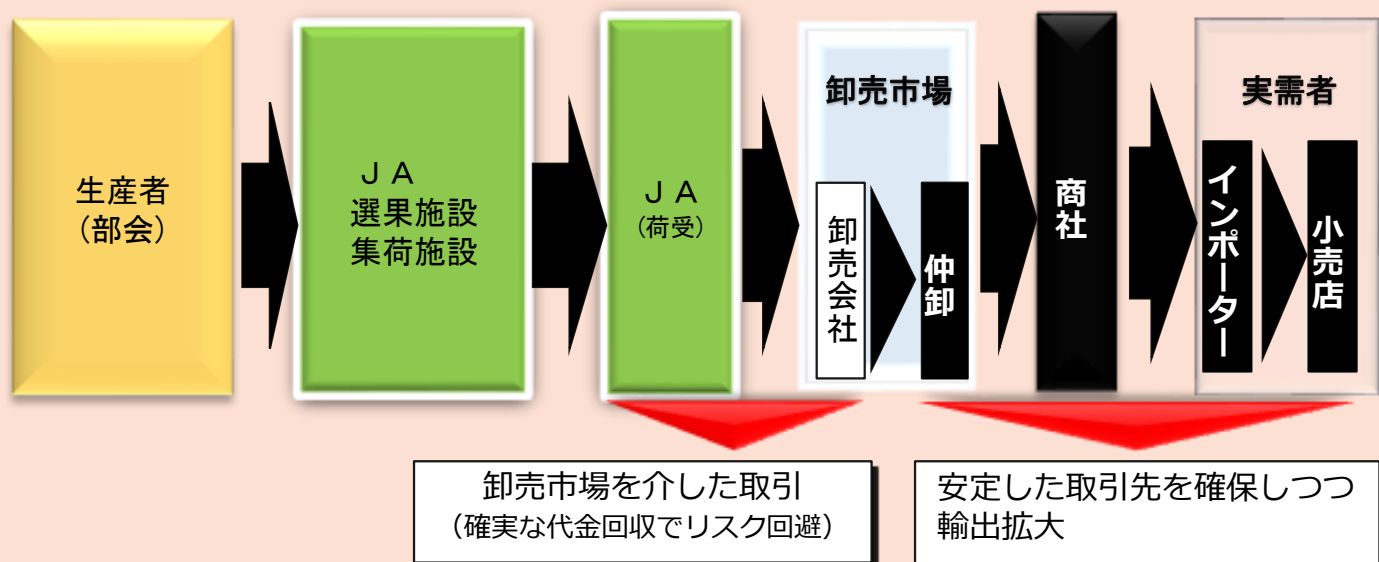
販売

- ・現地消費者に訴求力
のある商品 づくり
(オリジナルパッケージ)

推進体制



商流



2. G F P グローバル産地形成の取組内容

計画策定

	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月
計画策定				策定★ 申請
計画策定 検討会議			● 会議	● 会議
輸出対象国の 現地調査				● 調査 ■ 報告

輸出対象国調査(シンガポール)



2. G F P グローバル産地形成の取組内容

生産・加工等体制構築

年	2020年				2021年			
月	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
生産体制 検討会				● 会議				● 会議
植物検疫及 び規制対応	植物検疫、残留農薬に対応した防除の実践							
	★ 台湾 登録			● 研修	★ 台湾 登録			● 研修
	タイ：衛生管理基準の認証の継続							
輸出向け戦 略の検討	輸出向け品種の導入等の検討							
				● 検討 会議				● 検討 会議
スマートフレッシュ 専用処理施 設の施設	導入の検討							
	※コストや実需者の要望等から検討							

グローバル産地計画の事業効果の検証・改善

年	2020年				2021年			
月	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
産地計画 検証会議	産地計画の実践と検証							
				★ 検証 会議				★ 検証 会議
輸出対象国 等現地調査				● 調査				● 調査
				■ 報告				■ 報告

3. G F P グローバル産地計画のアウトプット

実需者の要望に柔軟
に対応できる産地



継続的かつ安定的に
取引できる実需者

安定した売り場の確保

下位等級品等の有利販売
による生産者の所得確保

- ・ 生産意欲の高揚
- ・ 新規就農者の確保
- ・ 経営規模の拡大

産地の維持拡大

自治体等と連携した販売促進

- ・ J A ながの産農産物
の認知度向上
- ・ 観光等の含めた情報発信

インバウンド
の増加